

名古屋市立大学薬学部 カリキュラムポリシー

（両学科共通）

1. 豊かな教養および人間性と国際性を育むため、幅広い教養教育を実施する。
2. 学生が自らの将来を明確に意識して学ぶことができるよう、早期体験科目や学外施設見学の機会を提供する。
3. 自然科学の基礎から薬学専門科目まで着実に身につけることができるよう、基礎薬学科目を薬学教育モデルコアカリキュラムに沿って配置する。
4. 科学的思考に立脚した問題発見能力および問題解決能力を醸成させるために、卒業研究実習を実施する。

（薬学科）

1. チーム医療に貢献できる薬剤師を養成するため、医学部、看護学部、付属病院と連携した教育を実施する。
2. 薬剤師としての能力と態度を醸成できるように、医療薬学科目と実習科目を適切に配置する。

（生命薬科学科）

1. 創薬研究者や医療科学の実践に関わる人材を養成するため、生命薬科学科目を提供する。
2. 生命科学の進展や先端技術の高度化に対応できる能力を涵養するため、大学院教育との連携を意識した科目・実習を配置する。